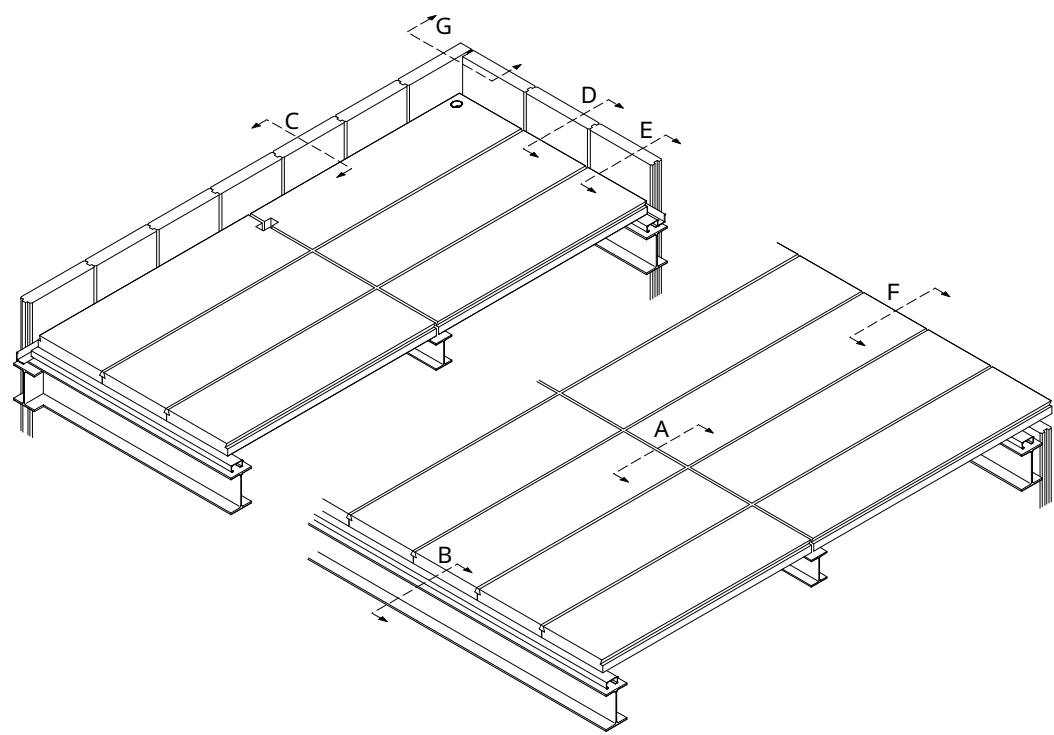


屋根 敷設筋構法

標準構法のキープラン



取付け金具はヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください

敷設筋構法特記および注（詳しくはヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください）

特1：標準構法図中の色文字は別途工事を示す

特2：屋根敷設筋構法は、閉鎖型建物の勾配が 10° (1.76 /10)未満の屋根に適用する。適用範囲以外の屋根については、別途ご相談ください

特3：2.5 /10以上の勾配屋根は、軒先とパネル5～8枚ごとに、パネル両端を受けるアングルなどの滑り止め金具を支持梁に設ける

注1：目地鉄筋：目地鉄筋は9 またはD10とする

注2：50mm以上突き出すかフックを設ける

注3：絶縁材：外壁の動きを考慮する場合必要

注4：屋根の周辺部でスラブプレートが用いられない場合はマルカンを用いる

注5：耐火目地材：耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする